

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 01 地域コミュニティ活動の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	地域づくりに参加することで、地域の連携が深まっています。

施策の成果状況と評価

指標①	地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【企画政策課】	%	65.0	64.3	-	→
評価	<p>(状況) 地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、長く続く町内会のつながりに加え、ふるさとづくり支援事業等の取り組みが、一定程度理解され、地域の課題解決に結びついているため、地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合は、平成30年度と同程度で推移していると推測されます。</p>						目標 達成度

指標②	市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【企画政策課】	%	71.2	67.5	-	→
評価	<p>(状況) 市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、ふるさとづくり支援事業等を活用し、地域の課題解決に取り組んでいることから、市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は、平成30年度と同程度で推移していると推測されます。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 自治会活動の活性化
- 基本事項 02 市民活動の推進
- 基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項01 自治会活動の活性化

指標 ①	町内会・行政区活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【企画政策課】	%	41.1	38.8	-	→	
評 価	<p>(状況) 地域コミュニティ活動に参加している市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、ふるさとづくり支援事業やコミュニティ助成事業の取組数が増加しており、地域コミュニティ活動が活発化していると考えられるため、成果は向上していると推測されます。</p>	(%)					---
							目 標 達成度

基本事項01 自治会活動の活性化

指標 ②	自治会加入率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【企画政策課】	%	74.5	73.7	72.8	75.0	
評 価	<p>(状況) 自治会加入率は72.8%で、前年度と比較すると0.9ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較して、1.7ポイント減少しています。 (原因) アパート等借家の入居者の加入率が低いこと、世帯分割等により全世帯数が増加傾向にあることが要因として考えられます。</p>	(%)					(横ばい)
							目 標 達成度

基本事項01 自治会活動の活性化

指標 ③	集会施設を修繕・機能改善した自治会数(累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【企画政策課】	自治会	24	25	56	75	
評 価	<p>第8次総合計画初年度(H30)までの数値は単年度の実績値 (状況) 集会施設を修繕・機能改善した自治会数は56自治会で、前年度と比較すると31自治会增加し、総合計画基準値(H28)と比較すると32自治会增加しています。 (原因) 施設の老朽化及びバリアフリー対応等により、修繕を必要とする施設が増加しているためと考えられます。</p>	(自治会)					(向上)
							目 標 達成度

基本事項02 市民活動の推進

指標 ①	市民活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【企画政策課】	%	7.4	8.2	-	→	
評 価	<p>(状況) 市民活動に参加している市民の割合は、実績値を2年に1度実施している市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、市民活動サポートセンターに登録している団体が、平成30年度は70団体、令和元年度は70団体と変更がなく、成果は横ばいと推測されます。</p>	(%)					---
							目 標 達成度

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 自治会活動の活性化
- 基本事項 02 市民活動の推進
- 基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項02 市民活動の推進

指標②	市民活動における施設の年間利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	人	190,513	214,794	269,493	260,000	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 市民活動における施設の年間利用者数は269,493人で、前年度と比較すると54,699人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると78,980人増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 市民交流センター「tette」の開館により、施設利用者が大幅に増加したことが主な要因です。</p>	(人)					目標達成度
							☑ (達成)

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標①	地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	%	59.4	56.5	-	→	---
評価	<p>(状況) 地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、市、県及び国または、マスメディアで広く周知されるようになり、男女が平等に社会参画できていることへの理解は、一定程度、浸透してきているものと考えられます。</p>	(%)					目標達成度
							---

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標②	市や人権擁護委員が行う人権教室の参加人数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	人	547	532	1,515	3,200	☀ (向上)
評価	<p>第8次総合計画初年度 (H30) までの数値は単年度の実績値</p> <p>(状況) 人権教室及び人権セミナーへの参加人数は1515人で、前年度と比較すると983人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると968人増加し、順調です。</p> <p>(原因) 人権教室の開催を小学校まで広げ、昨年度の2校から7校へと増加したことが主な要因と考えられます。</p>	(人)					目標達成度
							■■ (低)

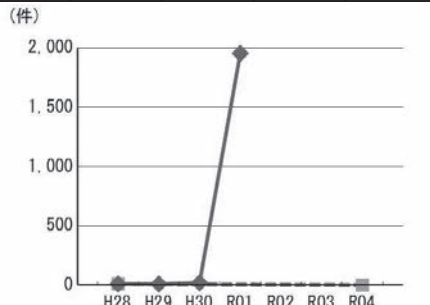

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

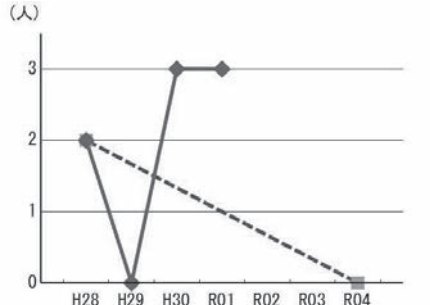

施策 02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防災・減災の取組によって被害を抑えられます。

施策の成果状況と評価

指標①	被災世帯数・被災事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【市民安全課】	件	9	19	1,954	0
評価	(状況) 被災世帯数・被災事業所数は1954件で、前年度と比較すると1935件増加し、総合計画基準値(H28)と比較しても1945件増加しています。内訳は台風第19号による被災が1940件、火災が13件、雪害が1件です。 (原因) 台風第19号による被災が増加したことによるものです。						目標達成度  (低)

指標②	災害・火災による死亡者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【市民安全課】	人	2	3	3	0
評価	(状況) 災害・火災による死亡者数は3人で、前年度と同数ですが、総合計画基準値(H28)と比較すると1人増加しています。内訳は台風第19号による死者が2人、火災による死者が1人です。 (原因) 甚大な被害をもたらした、台風第19号の被災により2名の方が亡くなった事が主な要因です。						目標達成度  (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項01 地域防災力の向上

指標①	市民の防災対策の平均実践項目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	項目	2.65	2.57	-	→	
評価	(状況) 市民の防災対策の平均実践項目数は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。しかし、令和元年台風第19号により、市民の防災意識は高まっていると推測されます。						目標達成度

基本事項01 地域防災力の向上

指標②	自主防災組織率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	50.9	56.1	57.8	80.0	
評価	(状況) 自主防災組織率は57.8%で、前年度と比較すると1.7ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると6.9ポイント増加しており、順調です。 (原因) 東日本大震災の経験や、西日本豪雨災害など、近年頻発する災害により、自主防災組織の必要性が再認識されていることが要因であると考えられます。						目標達成度

基本事項01 地域防災力の向上

指標③	災害等による消防団員の平均出勤率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	62.2	63.6	68.1	72.0	
評価	(状況) 災害等による消防団員の平均出勤率は68.1%で、前年度と比較すると4.5ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると5.9ポイント増加しており、順調です。 (原因) サラリーマン団員が8割を占めるなか、災害時に全団員が出勤することは困難ですが、団員の士気と責任感により支えられているものと考えられます。						目標達成度

基本事項01 地域防災力の向上

指標④	避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	56.0	55.5	50.5	65.0	
評価	(状況) 避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合は50.5%で、前年度と比較し5.0ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較し5.5ポイント減少しました。避難行動要支援者の登録者数は2,471人に対し、避難支援者の登録者数は1,247人で、1,224人は避難支援者が登録されていない状況です。 なお、H29、H30の指標値に誤りがあったため70.4%から55.5%に修正しています。 (原因) 避難行動要支援者の登録については、3月に勧奨を行ったことより高齢者の新規登録が大幅に増加しましたが、避難支援者の新規登録が少なかったことが原因と考えられます。						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標①	食糧の備蓄量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	食	18,000	18,000	18,000	→	(向上)
評価	(状況) 食糧の備蓄量は18,000食で、前年度及び総合計画基準値 (H28) の18,000食を維持しています。備蓄以外に、民間企業等と災害時応援協定を締結しており、災害時における食糧確保体制を整えています。 (原因) 食糧備蓄量に変化が無い理由は、災害時の備蓄食糧数を決め、備蓄食糧の賞味期限切れと新規購入量がほぼ同数であり、備蓄食糧の在庫数に変化が生じないためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標②	災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	件	2	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数は0件で、前年度と同数ですが、総合計画基準値 (H28) と比較すると2件減少しており、目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度から2年計画でバッテリー修繕工事を実施しているためです。防災行政無線屋外子局の放送に必要な設備であるバッテリーの耐用年数が5年前後であるため、年2~3件程度の不具合が生じていましたが、現在は解消されています。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標①	内水対策地区における床上浸水家屋数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	件	0	0	649	0	(低下)
評価	(状況) 内水対策地区における床上浸水家屋数は649件で、前年度及び総合計画基準値 (H28) と比較すると649件増加しました。 (原因) 台風第19号による出水時には、6地区において、排水作業を実施しましたが、記録的な雨量により河川から越水するなど排水ポンプの能力をはるかに超えたため、浸水被害が発生したことによるもので、一時的なものです。						目標達成度
							(低)

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標②	雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	88.4	89.7	89.7	91.6	(向上)
評価	(状況) 雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率は89.7%で、前年度から増減はありませんが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.3ポイント増加し、順調です。 (原因) 令和元年度は西部2号排水区 (館取町地内) の実施設計の一部に着手しましたが、工事には着手していないことから整備率に増減はありませんでした。令和4年度の整備完了後には整備率が向上します。						目標達成度
							(中)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標①	急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	88.9	100.0	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合は平成30年度に100%となり、目標値を達成しています。 (原因) 平成22年度から福島県が進めてきた急傾斜地対策事業により、日向地区の急傾斜地対策が完了し、須賀川地域5地区、長沼地域4地区計9地区の整備が完了したためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標②	日向地区における危険が回避された家屋の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	36.4	100.0	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 日向地区における危険が回避された家屋の割合は平成30年度に100%となり、目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度に家屋3戸の擁壁工事等を実施し、日向地区内の危険区域にある家屋10戸全ての危険が回避され、整備が完了したためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項05 消防体制の充実

指標①	災害等現場への平均到着時間	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	分	12分44秒	10分22秒	10分15秒	12分30秒	(向上)
評価	(状況) 災害等現場への平均到着時間は10分15秒で、前年度と比較すると7秒短縮し、総合計画基準値 (H28) と比較すると2分29秒短縮され、目標値を達成しています。 (原因) 日頃の訓練や、速やかな連絡体制が構築されていることによるものです。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                     グラフ表示はありません                 </div>					目標達成度
							(達成)

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 03 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	暮らしの安全に対する意識高揚が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	市内の人身事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	221	171	107	200
評価	<p>(状況) 市内の人身事故発生件数は107件で、前年度と比較すると64件減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると114件減少しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 警察署の取締強化や交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることが要因と考えられます。</p>						(向上) 目標達成度 (達成)

指標②	刑法犯認知件数 (須賀川警察署管内)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	540	457	462	→
評価	<p>(状況) 刑法犯認知件数 (須賀川警察署管内) は462件で、前年度と比較すると5件増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると78件減少しています。刑法犯認知件数のうち、窃盗犯が356件で全体の77.1%を占めています。</p> <p>(原因) 警察署による取り締まりはもとより、小・中・高校生による少年非行防止活動や関係団体等による啓発活動により、犯罪防止が図られたことが要因と考えられます。また、万引きや車上荒らしなどの窃盗犯は再犯率が高い傾向にあることから、全体に占める割合が高いものと考えられます。</p>						(向上) 目標達成度 (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。



□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	交通安全意識の高揚
基本事項 02	交通安全施設の整備
基本事項 03	子どもの登下校の安全確保
基本事項 04	犯罪に強い地域づくり
基本事項 05	消費生活意識の高揚

基本事項01 交通安全意識の高揚

指標①	市内の交通違反による交通事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき	
	【市民安全課】	件	167	105	57	150	(向上)	
評価	1月から12月の暦年データに基づくものです。	(件)						 目標達成度 (達成)
	(状況) 市内の交通違反による交通事故発生件数は57件で、前年度と比較すると48件減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると110件減少しており、目標値を達成しています。主な違反としては、前方不注意が21件で全体の約37%を占めており、次いで歩行者妨害等、一時不停止の順となっています。 (原因) 警察署の取締強化や交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることが要因と考えられます。							

基本事項02 交通安全施設の整備

指標①	交通安全施設を整備、機能改善した箇所数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき	
	【道路河川課】	箇所	122	197	221	222	(向上)	
評価	(状況) 交通安全施設を整備、機能改善した箇所数 (累計) は221箇所、前年度と比較すると24箇所増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると99箇所増加しており、順調です。 (原因) 令和元年度は、路面のカラー化や区画線の引き直しなど、24箇所の交通安全施設整備を実施したためです。	(箇所)						 目標達成度 (高)

基本事項03 子どもの登下校の安全確保

指標①	登下校時の事件・事故件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき	
	【学校教育課】	件	11	15	13	5	(低下)	
評価	(状況) 登下校時の事件・事故件数は13件で、前年度と比較すると2件減少していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると2件増加しており、順調ではありません。 (原因) 各学校において、通学路の危険箇所の点検を関係機関・団体等と合同で行ったり、警察署員や交通教育専門員を招いて交通教室を実施し、安全な登下校についての指導を行ったりしていますが、ドライバーの不注意によるもらい事故のケースなどもあることから、周囲に気を付けて登下校するよう、指導を行う必要もあります。	(件)						 目標達成度 (低)

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標①	防犯対策を実践している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき	
	【市民安全課】	%	52.0	49.0	-	→	---	
評価	(状況) 防犯対策を実践している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、防犯に関する意識啓発や自主的な防犯活動を行う町内会等への防犯ジャンパー貸与などを通じて、防犯意識の醸成が図られるよう継続して取り組んでいます。	(% )						目標達成度 ---

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	交通安全意識の高揚
基本事項 02	交通安全施設の整備
基本事項 03	子どもの登下校の安全確保
基本事項 04	犯罪に強い地域づくり
基本事項 05	消費生活意識の高揚

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標②	防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	件	8,661	8,779	8,888	9,000	(向上)
評価	<p>(状況) 防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計）は8,888件で、前年度と比較すると109件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると227件増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 防犯灯は夜間における犯罪、事故等の発生を抑制する効果が認められることから、市民生活の安全に資するため、防犯灯の効果的な設置を行ったためです。</p>						目標達成度
		■ (高)					

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標①	製品安全3法に基づく立入検査による違反件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	<p>(状況) 製品安全3法に基づく立入検査による違反件数は0件でした。電気用品安全法に基づく「直流電源装置等」の立入検査を3事業所、家庭用品品質表示法に基づく「靴下等」の立入検査を1事業所、消費生活用製品安全法に基づく「屋内用ガス瞬間湯沸器等」の立入検査を1事業所で実施しました。</p> <p>(原因) 各事業者が法令の目的を理解し、適正に遵守できているためと考えられます。</p>						目標達成度
		■ (達成)					

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標②	消費トラブルの相談・解決方法の認識数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	項目	1.99	1.78	-	→	---
評価	<p>(状況) 消費トラブルの相談・解決方法の認識数は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、消費生活に関する各種相談窓口の案内を市ホームページや広報紙に掲載し継続的に周知を図ることにより、消費トラブルの相談・解決方法の認識の向上に努めています。</p>						目標達成度
		---					

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通網の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	公共交通網が充実し、交通空白地域が減少します。

施策の成果状況と評価

指標①	公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	%	67.2	68.5	-	→
評価	<p>(状況) 公共交通が利用しやすいと思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値が未取得となっています。ただし、公共交通の利用者が年々減少傾向にある中で、令和元年度の市内循環バス乗車人員は67,903人で、前年度に比べ1,119人増加しており、市内循環バスが多くの市民に認知されていること、また、高齢者などを対象とした「バスの乗り方教室」を継続的に実施していることなどにより、公共交通の利便性の向上に努めています。</p>						<p>---</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>

指標②	公共交通の乗車人員	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	人	1,165,758	1,159,720	1,140,803	→
評価	<p>(状況) 公共交通の乗車人員は1,140,803人で、前年度と比較すると18,917人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると24,955人減少しており、順調ではありません。内訳は、路線バスが230,206人、循環バスが67,903人、乗合タクシーが5,384人、東北本線須賀川駅の乗車人員が837,310人となっています。</p> <p>(原因) 循環バスの乗車人員は前年度と比較し1,119人増加しましたが、路線バスと東北本線須賀川駅の乗車人員が前年度と比較しあわせて19,759人減少したことが主な要因と考えられます。なお、バスや乗合タクシーの再編に向けては、年次計画により取り組んでいます。</p>						<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■</p> <p>(低)</p>

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通弱者や交通不便地域の解消

基本事項 02 公共交通の利便性向上

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標①	交通手段がなくて困っている市民割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	6.5	6.2	-	→	
評価	(状況) 交通手段がなくて困っている市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、公共交通の利用者が年々減少傾向にある中で、令和元年度の市内循環バス乗車人員は67,903人で、前年度に比べ1,119人増加しており、市内循環バスが多くの市民に認知されていると考えられることから引き続き、公共交通の利便性の向上を図っていきます。						目標達成度
							---

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標②	乗合タクシーの運行地域カバー率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	64.6	65.8	65.8	65.8	
評価	(状況) 乗合タクシーの運行地域カバー率は65.8%で、前年度と同数であり、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.2ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 乗合タクシーは、路線バスの代替手段であり、平成30年度に東山エリアの運行を開始し、エリア拡大をしましたが、令和元年度は変更ありませんでした。なお、バスや乗合タクシーの再編に向けては、年次計画により取り組んでいます。						目標達成度
							(向上) (達成)

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標①	各種バス年間乗車人員	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	人	323,703	311,460	303,493	320,000	
評価	(状況) 各種バス年間乗車人員は303,493人で、前年度と比較すると7,967人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると20,210人減少しており順調ではありません。内訳は路線バスが230,206人、循環バスが67,903人、乗合タクシーが5,384人となっています。 (原因) 循環バスの年間乗車人員は前年度と比較し1,119人増加しましたが、路線バスは前年度と比較し8,809人減少したことが主な要因となっています。なお、バスや乗合タクシーの再編に向けては、年次計画により取り組んでいます。						目標達成度
							(低下) (低)

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標②	須賀川駅の1日平均乗車人員	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	人	2,307	2,324	2,294	→	
評価	(状況) 須賀川駅の1日平均乗車人員は2,294人で、前年度と比較すると30人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると13人減少しました。 (原因) 主な利用者は、通勤、通学者であると推測され、少子化により年々学生数が減少傾向にあることも要因にあると考えられます。また、台風第19号や新型コロナウイルス感染拡大による影響もあるものと思われます。						目標達成度
							(横ばい) (中)